【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2007-199167(P2007-199167A)
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2007-030
【出願番号】特願2006-15054(P2006-15054)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/02　Ｌ
Ｇ０３Ｂ　15/02　Ｍ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｕ
Ｇ０３Ｂ　15/02　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月20日(2009.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源と、該光源の光軸方向において該光源よりも後方に配置され且つ該光源からの光を反射する反射傘と、該光軸方向において該光源よりも前方に配置された光学パネルと、を有する照明装置において、
前記光源、前記反射傘、および前記光学パネルは、前記光軸方向において前記前後方向にそれぞれ独立して移動可能であり、
前記三者をそれぞれ前記光軸方向に移動することにより、前記光軸方向における、前記光源と前記光学パネルとの間の相対間隔、および前記光源と前記反射傘との間の相対間隔を共に調整可能であることを特徴とする照明装置。
【請求項２】
請求項１記載の照明装置において、
照明角が広角の時は、前記光軸方向における、前記光学パネルと前記反射傘との前記相対間隔を狭くするとともに、前記反射傘と前記光源との間の前記相対間隔を広く設定し、
照明角が狭角の時は、前記光軸方向における、前記光学パネルと前記反射傘との前記相対間隔広くするとともに、前記反射傘と前記光源との前記相対間隔を狭く設定することを特徴とする照明装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２記載の照明装置において、
前記反射傘の両側に側方反射板を配置し、前記側方反射板の反射方向を変更可能にしてなることを特徴とする照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
第１の発明の照明装置は、光源と、該光源の光軸方向において該光源よりも後方に配置され且つ該光源からの光を反射する反射傘と、該光軸方向において該光源よりも前方に配置された光学パネルと、を有する照明装置において、前記光源、前記反射傘、および前記光学パネルは、前記光軸方向において前記前後方向にそれぞれ独立して移動可能であり、前記三者をそれぞれ前記光軸方向に移動することにより、前記光軸方向における、前記光源と前記光学パネルとの間の相対間隔、および前記光源と前記反射傘との間の相対間隔を共に調整可能であることを特徴とする。
第２の発明の照明装置は、第１の発明の照明装置において、照明角が広角の時は、前記光軸方向における、前記光学パネルと前記反射傘との前記相対間隔を狭くするとともに、前記反射傘と前記光源との間の前記相対間隔を広く設定し、照明角が狭角の時は、前記光軸方向における、前記光学パネルと前記反射傘との前記相対間隔広くするとともに、前記反射傘と前記光源との前記相対間隔を狭く設定することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第３の発明の照明装置は、第１または第３の発明の照明装置において、前記反射傘の両側に側方反射板を配置し、前記側方反射板の反射方向を変更可能にしてなることを特徴とする。